

Title: 「Back home」



中村 創太
1979年生まれ、三十路です。帰って来てから10キロ弱太りました・・・

● 最近のエントリー

- ☞ [相性 \(5月7日、バンコク\)](#)
(2008.05.07)
- ☞ [無駄遣い \(5月1日、サラ・タマ・ソップ\)](#)
(2008.05.01)

● アーカイブ

- ☞ [2009年12月](#)
- ☞ [2009年11月](#)
- ☞ [2008年09月](#)
- ☞ [2008年08月](#)
- ☞ [2008年07月](#)
- ☞ [2008年06月](#)
- ☞ [2008年05月](#)
- ☞ [2008年04月](#)
- ☞ [2008年03月](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

RSS 2.0

[Back Home](#) > 2008年05月 アーカイブ

08.05.07

相性 (5月7日、バンコク)

[Tweet](#)

[Check](#)

とうとう明日、マレーシアへ向かいます。
自分の場合、マレーシアに入国後は学校のスクーリング施設へ直接向かい、最初の5日間でグループ写真展を実施します。その後ひたすら暗室での現像作業を行い、日本からいらっしゃるゼミの先生方とのスクーリングが行われ、今後の撮影方針が決定されます。要するにこれからの3週間は写真を撮る期間ではなく、撮った写真を作品にする為に、今後何をすべきかを考える期間に入ります。たぶんここからインドへ行くまでの間は、日付けが分からなくなる程度の早さで過ぎてゆくでしょう。

話を戻してタイの感想ですが、正直疲れました・・・

バスを乗り間違え、鉄道に乗り遅れ、挙げ句、カンチャナブリーという所からの最後の個人移動日も、トゥクトゥクのじいさんに「駅まで」と言ったら、「バンコクへ行きたいんだら」と勝手な気を回されて、・・・鉄道駅から2キロ離れたバスターミナルへ連れて行かれる始末。「結局最後の最後まで振り回してくれたね・・・」入国の時点で何故かいやな予感がしたんですが、「良い奴だけど何か反りが合わない」という僕のタイへの感情は結局消えてくれませんでした。

こういう経験の方がかえって後々の良い思い出になってしまうんでしょうか？



カテゴリ:

post by 中村 創太 | 日時: 2008.05.07 | [パーマリンク](#) | [コメント \(4\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[Back Home](#) > 2008年05月 アーカイブ

08.05.01

無駄遣い (5月1日、サラ・タマ・ソップ)

[Tweet](#)

[Check](#)

面白しばかりが旅じゃない、という事で今日は聞く人によってはあんまり面白くない話です。





今日はバンコクのトンブリー駅から30分、8駅目の「サラ・タマ・ソップ」という駅に行ってきました。

前回のブログでお伝えした成り行きの旅のロケハン中に、車窓から見えた蓮の畑に一目惚れした所です。



蓮の畑は駅の脇なので列車を降りて真っ先に向かい、どこから写真を撮ろうかとウロウロしてみると案の定、住人達に絡まれたので、前回のホテルのフロントのおばちゃんに書いてもらった「ここで写真を撮っても良いですか？」のタイ語版カンペをそいつ等に見せ、まあいつも通りOKをもらったんですが、その後が駄目でした。

畑を一回りしてここから撮ろうと決めた場所に三脚を立てると、その中の一人のすごい腹のおっさんが近づいて来て、真面目な顔で畑を指差しながらタイ語なのか、英語なのかよく分からない言葉（おそらくごちゃ混ぜ）で話しかけて来たので、

「撮っちゃ駄目なの？良いの？」

と××ゼスチャーで聞いてみると、

あやふやだけど、オーケーと言うから、

「よくわかんねえなあ」と思いながらも準備を進めていると、

すごい腹のおっさんはやっぱり横で何かを言っていて、

畑を指差しながら、

「☆●●●○●●◇▽！！」

「いや、だから何が言いてえんだよ！」

「☆●●●○●●◇▽●●●●●、ワンハンドレットパーツ！！」

「・・・ああ、そういうことか。OK,OK」

要するに「俺たちが一生懸命育てた畑なんだから撮るんだったら100パーツ払え」と・・・。出発前から先生方にもありがちな事として聞かされてましたが、「とうとう来たか」という感じです。

そもそものここに来た目的が蓮畑と彼らですら仕方ありません、即決でした。

仲間に向かって「ワンハンドレット！！ウホーウ！！」

ガッツポーズで絶叫するおっさん。

なおも横に立ち続け、荷物を見てやるとか言って、いちいち話しかけてくるし・・・。

「もういいからあっち行ってろよ！！」



<この子達ではなく、こいつです/>

『旅の間、4x5で何回くらい撮影したんだろ？』

数えてみると大体30回くらいでした。

・・・。

30回に1回、大体3%。

・・・、なんだ、そんなもんか。

消費税みたいなもんですね。

30分の1の為に落ち込むなんて、そんなくだらない事をする必要はありません。

自分にとって大事なものは残りの29回だと、

そう割り切る事にしました。

『彼らの事情』なんてものは当然僕には分かりませんし。

インドなんかに行った日には確率は上がるでしょうが、

対策を立てやすくなったと思って腹を括りましょう。

現に、その後に撮影した所の隣の家のお父さんは笑顔で見送ってくれましたから。



・・・しかし、ついてないときはやっぱりついてない、
その後、列車に乗り遅れました(笑)
水を買った駅前の商店の親切な兄ちゃんが時刻表まで出して来て、教えてくれたのを鶏呑みにしてたら、目の前を列車が通過しました。
駅員に聞くと「列車はもう無い」と、
まあ、自分できちんと確認しなかった事に問題があるのですが・・・、
仕方が無いから道の途中でタクシーを拾って帰りました。
運賃は言い値の400パーツ。
ちなみに行きはタクシー55パーツ、鉄道たったの3パーツ。

父さん、母さん、間抜けでどうも済みません・・・。

カテゴリ:

post by 中村 創太 | 日時: 2008.05.01 | [パーマリンク](#) | [コメント \(6\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)